

地区：南三陸町

震災遺構・伝承施設

対象：教育旅行団体旅行個人旅行

ジャンル：施設見学

南三陸町東日本大震災伝承館「南三陸311メモリアル」

学びのポイント

- ・災害を“自分ごと”として捉え、主体的な防災意識の醸成と、将来の災害時に命を守る行動について判断する力を養えるよう、住民の証言映像をもとに参加者同士が対話しながら考える参加型のラーニングプログラムを提供しています。
- ・展示見学や証言・記録映像の視聴、インスタレーション、参加型プログラムなど多様な手法を通じて、自然災害の脅威や命のかけがえのなさ、防災・減災の必要性を多面的に理解することができます。
- ・南三陸町での被災経験や復興の過程を知ることで、災害時における地域のつながりや支え合いの重要性への理解を深めます。被災地の実体験に基づく学びを通じて、自助・共助の視点から命を守る行動について考える機会を提供します。

1. 内容

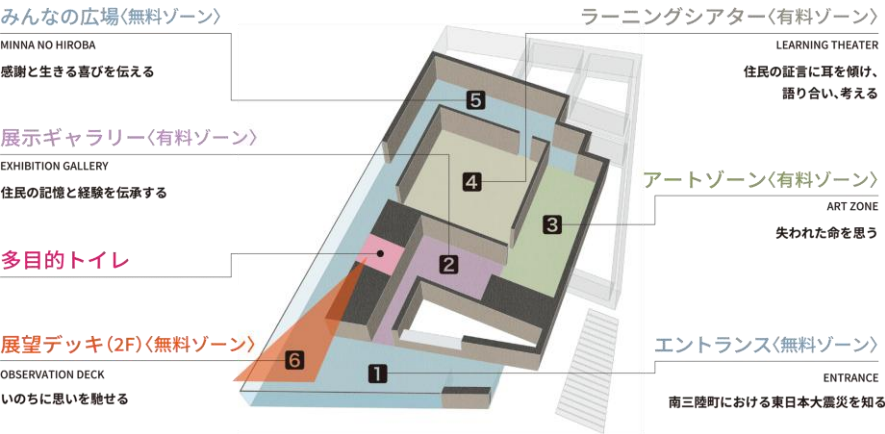
説明

宮城県北部に位置する南三陸町は、三陸海岸特有のリアス海岸を有し、古くから自然と共に生きてきた町です。過去に繰り返し津波の被害を経験してきた歴史から、日頃から防災意識の醸成や備えに取り組んでいましたが、東日本大震災では想定を大きく上回る最大23.9メートルの津波により町域の広範囲が被災し、多くの尊い命が失われました。

南三陸311メモリアルは、「海と山、過去と未来を繋ぐ船」をコンセプトに、建築家・隈研吾氏の設計により建てられた震災伝承施設です。地域住民の被災体験をもとに、防災について共に考える場として整備され、ふるさと再生にかけた思いや、復興を支えてきた多くの支援への感謝の気持ちを後世に伝え継ぐ役割を担っています。南三陸での経験と教訓を未来へ伝え、将来の災害から命を守る行動につなげていくことを目的に、住民の証言映像を活用した参加型のラーニングプログラムを提供しています。

[2022年10月1日から一般公開開始]

<南三陸311メモリアル全体図>



コンパクトな学習環境

南三陸311メモリアルは、復興祈念公園やさんさん商店街と隣接しています。半日から1日の学習をエリア内で行うことができ、移動を最小限に抑えながら継続的に学びを深めることができます。



隈研吾氏が手掛けた建築

南三陸町中心部のグランドデザインを手掛けた隈研吾氏が設計、地元産の南三陸杉が使われています。復興の思いを形にした伝承施設です。



アート作品の展示

クリスチャン・ボルタンスキーの作品を展示しています。命や喪失、復興など、言葉では表しきれない思いを感覚的に受け止めることで、多様な視点から出来事を考えるきっかけとなります。



参加型のラーニングプログラム

テーマの異なる3つのラーニングプログラムを用意しており、学びの目的に応じて選ぶことができます。(詳細は「4.ラーニングプログラム」に掲載)

2. 順路

南三陸311メモリアルは、展示見学と体験型のラーニングプログラムで構成されています。

・展示見学

自由見学が基本ですが、有料オプションとして施設スタッフによる解説案内を付けることも可能です。

・ラーニングプログラム

映像を視聴し、問いに対して参加者同士で対話を行うアクティブラーニング形式で実施します。学習の目的や生徒に身につけてほしいこと等に合わせて選べる3つのプログラムが用意されています。

見 学

エントランス(無料ゾーン)

南三陸町の東日本大震災での被害状況について、概要を展示しています。町の立体地図には、明治時代から現在に至るまで、南三陸町を襲った津波の高さが示されており、いかに東日本大震災の津波の規模が大きいものだったのかを理解することができます。



見 学

展示ギャラリー(有料ゾーン)

常設展示「あの日、防災庁舎で」が公開されています。南三陸町旧防災対策庁舎で九死に一生を得た人々の証言を通じて、発災当時、庁舎内で何が起きていたのか、どのような状況に置かれていたのかを紹介しています。緊迫した状況にあった当時の様子や、ある日前触れもなく当たり前の日常が奪われた現実から、命の重みについて考えるきっかけとなります。



見 学

アートゾーン(有料ゾーン)

フランスの現代美術家、クリスチャン・ボルタンスキーによるインスタレーション「MEMORIAL(メモリアル)」を展示しています。ボルタンスキーは、生と死や不在を主題に、人間の存在の尊厳やはかなさを表現してきた作家です。

失われた存在を想起させる空間として構成され、震災で失われた命、記憶についての思考を促します。



体 験

ラーニングシアター(有料ゾーン) 定員:50名

自分自身のこととして自然災害について学び合う、南三陸311メモリアルのメインコンテンツです。震災の記録映像や被災者の証言映像を通じて、「もし自分がそこにいたら、どう考え行動するか」をまわりの人と対話しながら考えます。

確かな答えが出ない問いに向き合い続けることが、いざという時の備えにつながります。

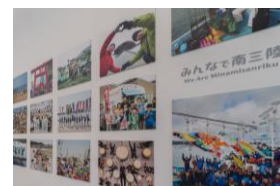


見 学

みんなの広場(無料ゾーン)

「感謝と生きる喜びを伝える」をテーマに、復興を支援してくださった方々との交流の証や、震災後に住民たちが共に支え合いながら生きる姿を紹介し、感謝の思いを伝える交流スペースです。

常設展示では、写真家 浅田政志氏が、再生に向けて歩み続けてきた住民たちを2013年から撮影してきた写真作品「みんなで南三陸」を展示しています。



見 学

展望デッキ(無料ゾーン)

復興祈念公園や中橋、南三陸さんさん商店街の向こうに志津川湾を望むことができる展望デッキです。

河北新報社による連載企画「ドキュメント防災庁舎」を特別展示しています。現在のまちの姿と重ね合わせながら、震災当時の出来事や記憶に触れることができます。



3. 施設情報①

開館時間	9:00～17:00 ※12月～2月は9:00～16:00
休館日	毎週火曜日 ※2026年4月より、毎週火曜日は不定休になります 年末年始 ※年末年始の休館日は年度により異なりますので、南三陸311メモリアルWebサイトにてご確認ください
所要時間	施設見学:約30分 ※展示ギャラリー、クリスチャン・ボルタンスキーのアート作品 他 ラーニングプログラム:約60分 ※映像視聴・専用ミニブックを活用したラーニング
予約	●個人での利用 施設見学の場合、予約は不要です。ラーニングプログラムは入れ替え制のため、上映スケジュールに合わせて日時指定の事前予約を受け付けています。予約なしでの入館も可能ですが、ラーニングシアターは各回定員制のため満員となる場合があります。確実にご覧いただくため、事前に上映スケジュールをご確認のうえ、予約の上での来場をおすすめしています。 ※ラーニングプログラムの上映スケジュールは、南三陸311メモリアルWebサイトに公開しています。 スケジュールが公開されていない期間も予約可能ですので、お問合せください。 ●教育旅行等、団体での利用 入場定員が設定されているため、事前予約をお願いしています。 ※詳しくは、南三陸311メモリアルWebサイト「ラーニングプログラム」「よくあるご質問」をご確認ください。 ・ラーニングプログラム https://m311m.jp/faq/ ・よくあるご質問 https://m311m.jp/learning-program/
見学人数	無料エリア：最大50名程度 有料エリア：最大20名程度 ラーニングシアター：1～50名 ※50名以上は複数回に分かれての実施になります
料金	【入場料金】 一般・大学生:200円・小中高校生:100円 【ラーニングプログラム】 ●個人 [60分] レギュラープログラム 一般・大学生:800円・中高校生:700円・小学生:400円 [30分] ショートプログラム 一般・大学生:600円・中高校生:500円・小学生:300円 ●団体 [60分] レギュラープログラム 一般・大学生:400円・中高校生:400円・小学生:200円 [30分] ショートプログラム 一般・大学生:300円・中高校生:300円・小学生:100円 ※表示料金はすべて税込み ※団体は10名以上
支払い方法	当日現金払い・後日請求書払い 各種QR決済・クレジットカード・Suica・iD等も対応しています

4. ラーニングプログラム

内容	ラーニングプログラムは、震災を経験した住民の証言映像を視聴し、自然災害を“自分ごと”として捉え、防災意識の向上や日頃からの備えについて考えるきっかけとなる、南三陸311メモリアルのメインコンテンツです。参加者が自分ごととして捉えられるよう、問いに対して参加者同士で対話を行うアクティブラーニング形式を採用しています。 生徒に身につけてほしいことや目的に合わせて選べる3つのプログラムが用意されており、目的に応じて1つを選択して実施します。プログラムの選び方については、ご相談ください。 ●進行 - 映像視聴(プロローグ) - 映像視聴(本編) ※映像の途中でファシリテーターが問いを投げかけ、約1分間の対話を複数回行います。 - 映像視聴(エピローグ)	
時間	・レギュラープログラム:約60分 ・ショートプログラム:約30分	
プログラム	1	【生死を分けた避難】 繰り返し津波被害を受けてきた南三陸町では、防災計画に基づく避難訓練を地域全体で重ねてきましたが、想定を超える大津波により多くの尊い命が失われました。生死の分かれ目に直面した住民の証言映像を通して災害時に求められる行動や判断、孤立した極限状況での過ごし方を学び、自然災害から命を守るために本当に必要な備えについて考えます。
	2	【そのとき命が守れるか】 東日本大震災では、町の指定避難場所の多くが津波に襲われ、想定を超える事態が現実となりました。自然災害時には、避難計画や訓練どおりに行動するだけでは対応できない状況に直面することがあります。思いもかけない事態の中で命がけの判断を迫られた住民の証言映像を通して、災害時における判断の難しさを学び、自然災害から命を守るために何が必要かを自分自身の問題として捉え、考えます。
	3	【いのちを想う】 自然災害によって多くを失った経験から、南三陸町の人々は「いのち」と向き合ってきました。いのちを見つめ直すことが、明日を生きる力や再生への力につながることを問いかけます。避難所で「みんなと一緒にいる」という安心感が危険への気づきを鈍らせる場合があるという人間の心理を学ぶとともに、当時の小学生や漁師などの証言映像を通して、被災後をどのように生き抜いてきたのかを知ります。 大切な人を失った悲しみや、失意の中から歩み出した過程に触れることで、人は何を大切にして生きるのかを考えます。



5. 施設情報②

トイレ	館内：バリアフリートイレ1基 ※南三陸さんさん商店街、JR志津川駅のトイレが各徒歩1分程度のところにあり				
バリアフリー	・館内全域バリアフリー対応 ・車椅子貸出(2台) ・介助犬・盲導犬・聴導犬同伴可 ・南三陸さんさん商店街内バリアフリートイレ(オストメイト対応)	買物施設	<あり> 南三陸さんさん商店街	食事施設	<あり> 南三陸さんさん商店街
その他	施設内にAEDの設置あり				

6. アクセス

所在地	〒986-0752 宮城県本吉郡南三陸町志津川五日町200-1 Googleマップ： https://maps.app.goo.gl/keKtmoiqHXGKNDJ79		
駐車場	道の駅さんさん南三陸(南三陸311メモリアル側駐車場)：普通車50台、障がい者等優先3台、大型バス7台、EV充電器1台 道の駅さんさん南三陸(南三陸さんさん商店街側駐車場)：普通車170台、障がい者等優先3台、大型バス9台		
アクセス	車	【道の駅さんさん南三陸(南三陸311メモリアル側駐車場)】 三陸自動車道志津川ICより約3分 ※仙台、松島方面からのアクセス 三陸自動車道南三陸海岸ICより約6分 ※気仙沼方面からのアクセス	
	その他	【道の駅さんさん南三陸(南三陸311メモリアル側駐車場)】 電車利用の場合 JR気仙沼線BRT志津川駅より徒歩で約1分	
各地からの所要時間		【道の駅さんさん南三陸(南三陸311メモリアル側駐車場)】 ・仙台駅から車で約90分 ・仙台空港から車で約90分 ・松島海岸から三陸自動車道を経由して車で約60分	

7. 災害時の対応

周辺の避難場所	ラーニングプログラム受講中に避難を要す場合は、職員が避難誘導します
---------	-----------------------------------

8. その他

外国語対応	・展示キャプションは、QRコードから英語・中国語(繁体字)での閲覧が可能 ・ラーニングプログラム映像に、英語・中国語(繁体字)の字幕あり ※ラーニングプログラムへの通訳同行による外国語対応は要相談となります。
周辺施設	<u>ひころの里</u> :道の駅さんさん南三陸より車で約12分 <u>南三陸YES工房</u> :道の駅さんさん南三陸より車で約12分 <u>ハマレ歌津</u> :道の駅さんさん南三陸より車で約15分

9. その他のプログラム「今日から実践できる防災1アクションを持ち帰るワークショップ」

内容	災害時の町民の体験談をもとに、今日から取り組める防災・減災アクションを考え、持ち帰るためのプログラムです。 「災害時は学校で避難生活を送ることになる」「学校は避難所となり、地域の人々も避難してくる」「学生も当事者であり、支え手となる」などをテーマに、といったテーマを軸に、震災時の体験をもとに参加者自身ができる防災・減災について考えるワークショップを実施します。 南三陸311メモリアルでの学びを、より実践的な行動へと発展させるプログラムとして組み合わせて実施することが可能です。
時間	約60分
人数	10名～200名程度
料金	●個人 一般・大学生：800円・中高校生：700円・小学生：400円 ●団体 一般・大学生：600円・中高校生：500円・小学生：300円 ※料金はすべて税込み ※団体は10名以上 ※別途、会場費用が発生します 料金についてはご相談ください

10. 南三陸町志津川地区中心部 略図



11. お問い合わせ先

南三陸311メモリアル

TEL:0226-28-9215

FAX:050-3397-1726

E-mail:m311m●m-kankou.jp(●を@に変更してください)

サイト:<https://m311m.jp/>